

## 報告事項1：令和3年度事業報告の件

### 令和3年度事業報告 要 旨

事業年度活動テーマ『 Opportunity 』（オポチュニティ）

### ～ 次を見据えよう ～

はじめに

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症により、国民生活は大きな影響を受けた。JAIF Aにおいても、公益事業活動はもとより、各会員も大きな影響を受けた。東京都をみると、4月以降、まん延防止等重点措置と緊急事態宣言が繰り返され、翌年1月からはオミクロン株等による感染者増加によりまん延防止等重点措置が3月下旬まで継続された。

その間、1年延期された東京オリンピックパラリンピックは、数多くの困難を乗り越えて一部の競技場を除いて無観客で開催され、挑戦するアスリートの姿は世界中の人々に勇気と希望を与えた。

今年度、JAIF Aは、このように厳しい環境下でも、やがて来る「**Opportunity**（機会・好機）」を信じ、今なすべきことを着実に実行していくことが大切であり、その時のために「次を見据える」ことを事業活動テーマとして取り上げた。

不安や期待を抱えながらも、来るべき**Opportunity**に一人でも多くの国民が共に歩めるよう、生命保険営業職員という立場から公益事業を展開することとして、「次を見据えて」活動に取り組んできた。令和3年度の特記する点は下記のとおりである。

#### ◆一般消費者とJAIF Aを結ぶ情報発信ツール

ホームページの全面リニューアルを受けて、IT公益推進委員会を中心として、本部と地方の間の承認手続きのシステムを稼働させたほか、令和4年度運用開始を目指して学習帖サイトのログインの仕様の改善を図るとともに、学習帖の提供頻度を見直し、ホームページアクセス数のモニタリングを継続しながら、一般消費者向けコンテンツの充実を目指す方向性を明確にした。

#### ◆年次統一セミナー、地方協会セミナー

令和3年5月28日、広島年次統一セミナーは、Web参加を原則としつつ主催地域に限定して参加者を募り開催された。

各地方協会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、Webを活用したセミナーを開催するなど、事業活動の継続に努力を続けた。

◆会員増強は、令和2年度に平成17年以降続いた16年連続増加がかなわず、約1%程度の減少となったが、令和3年度は、減少から増加に転じ、1.7%の増加となった。事業活動が思うように進展しない中においても、減少は1年で増加に転じることができた。

#### ◆愛のドリーム募金

会員1人1日10円を募金し、高齢者福祉施設等に福祉巡回車「愛のドリーム号」を贈呈するなどの活動を行っている愛のドリーム募金は、生命保険の日である1月31日に全国一斉贈呈式を実施する方針の下、例年どおり、全国54地方協会の大宗において一斉に挙行了した。

#### ◆ハートフルファンデーション支援

会員1人の年会費に500円が加えられることにより基盤が強化されたハートフルファンデーション基

金は、地方協会長やハートフル・コーディネーターの連携により、突発的災害への迅速支援として被災地が求める物資の支援等を行った。

また、「未来ある子どもたち」への支援として、平成29年度以降継続支援してきた3団体に対する支援も引き続き行った。

令和3年度の公益社団法人としての事業詳細については下記のとおり報告する。

### ■「公益社団法人」としての役割と使命（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA）は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。

目的達成のための事業は次の通りとしている。

- （1）消費者に対する生きがいや生活設計の支援と生命保険に関する教育啓発・情報提供活動
- （2）地域社会に貢献するためのボランティア活動やエコ活動
- （3）消費者に対する生命保険知識向上のための調査及び関係機関への提言
- （4）その他本会の目的を達成するために必要な事業

これを礎に、これまでも増して、生命保険営業職員で構成する唯一の公益団体として、JAIFAの果たす役割と使命を心に刻み、生命保険の健全な発展のために一歩ずつ着実な事業運営を行っていくようにしていくことを誓う。

### ■一般消費者の参加による年次統一セミナー、講演会・セミナー等の実施（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

消費者個々の利益保護を図り、国民生活を守るため、公益的役割を担う社会保障制度の一部を補完している国民生活に密接な生命保険を、適切に利用していただけるよう、保険の仕組みや新しい保険の正しい知識を一般の消費者の方々に啓発する活動や、消費者のライフサイクル全般にわたって情報提供活動につなげるべく講演会、研修会、セミナーなどを実施し、生命保険が自分や家族の生活を守る大切な役割を担っていることを理解していただくとともに、生命保険商品をはじめとする金融商品の正しい知識や活用を一般社会に普及させるように実施してきた。

一般消費者の参加によるセミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、主に『健康増進や先端医療』『生きがいを考える』『教育・人格形成』『ライフプランの設計支援』『経済や金融などの知識向上』といった5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいた。

年次統一セミナーは、年に一度、統一テーマのもとに全国規模のセミナーを開催する目的は、(1)公益法人として不特定多数の利益実現を図るといふ、当協会の使命・役割を改めて新入会員を含め末端まで徹底させると同時に、(2)一般の消費者の方々に広く参加を呼び掛け、国民生活に密接な生命保険の役割を理解していただくことにある。そのための広報活動を積極的に展開している（2021年度WEB開催「広島大会」）。また、同セミナーでは、加入者の体験談なども交え、参加者に啓発活動を展開

している。あわせて、広く実施している「愛のドリーム募金」を代表例として、様々な形での社会貢献活動（リレー・フォー・ライフ、スペシャルオリンピックス日本など）ボランティア活動の意識向上を目的に活動している。

## ■公益法人団体相互の連携による『民による公益』の増進へ向けて （教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

J A I F Aは、公益法人団体相互の交流を通じて「民による公益事業」の拡大に応えるための活動にも着眼し実施している。

公益法人制度改革の目的は、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与するとともに、主務官庁の裁量権に基づく許可の不透明性等の従来の公益法人制度の問題点を解決すること。」とあり『民による公益』の増進を推進している。

J A I F Aは、自協会の活動とともに、他の公益法人組織との交流の中で、互いの組織の事業への理解や連携を通じ、民による公益事業の推進に対して、交流を通じた活動に応えられるよう推進してきた。

### ①公益法人団体が実施する行事への参加（人的支援）

公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 全国各地の主催行事へ参加  
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 全国各地の主催行事へ参加

### ②広報誌「Present」への寄稿

一般社団法人金融財政事情研究会「お金にまつわるエトセトラ（ファイナンシャルプラン）」11年継続  
公益財団法人生命保険文化センター「中学生作文コンクール」入賞作品の紹介 20年継続

## ■社会貢献活動の充実（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

社会奉仕活動事業は、J A I F Aの公益事業の重要な位置づけにあり、従来から実施している様々な社会貢献活動の充実拡大をはかり展開している。また、J A I F A地方協会の特色を活かした独自の活動を拡大させている。

当協会の社会貢献活動の原点は、平成7年から開始した「愛のドリーム募金」活動である。「一日 10円」の精神で募ったこれまでの募金総額は、26年間で5億8,054万7,852円、福祉巡回車愛のドリーム号は463台、その他に、車椅子や家電製品、さらには児童支援に関わる文房具などの購入とともに全国各地へ寄贈してきた。

このように、愛のドリーム募金は、「愛のドリーム号」の贈呈に加え、未来ある子供たちのために地域での要望や実情などを受けて、同募金の贈呈対象を、将来を担う子供たちへの支援にも活動の輪を拡大して身近な生活に役立ち、子供たちが大きく育ってほしいと願っている。

これからも、地域に根差した活動として地方協会毎に現地の事情に合わせた贈呈を推進していく。

「かけがえのない命とその命を育んでいる地球環境の保護」を「タッチ エコ！」のスローガンのもと、エコの視点を持った新たな取り組みとして、次の3点について継続的に実施しており、令和4年度でも実施予定である。

### ①未使用のプリペイドカード（テレフォンカード等）の収集

携帯電話の普及と共に未使用のテレフォンカードを手元に保管している人は少なくない。これを収集しボランティア支援に活かしている。このほか切手・はがき等の支援も増えてきた。

### ②メガネの回収

メガネ使用者やコンタクトレンズに変えられた方などから、使用しなくなった「メガネ」を回収している。これは、目が悪くてもメガネを買うことのできない途上国を支援するボランティア団体へ送り、役立てて頂いている。

## ② タオルの回収

自宅や会社にある未使用のタオルを回収し、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈して最後は雑巾に至るまで有効活用して頂き喜ばれている活動である。一般企業から協力も頂いている。

更に「愛のドリーム募金」の拡充と活動の周知をはかるため、令和元年度より、毎年、生命保険の日（1月31日）に併せて「愛のドリーム募金」贈呈式を全国地方協会にて一斉に挙げていく活動を取り入れた。この活動は恒久事業として毎年継続していく。

上記に加え、コロナ禍のマスク需要により未使用マスクの収集を追加した。その他、ペットボトルキャップ等、地球環境の保護にも配慮した事業も今後さらに拡大させる予定である。

## ■ハートフルファンデーション支援（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

### 1. 未来ある子どもたちへの継続支援

平成24年の設立からの5年間「年度ごとの期限を定めた支援」として毎年500万円相当の寄贈も続けてきた実績から、「年度ごとの期限を定めた支援」に代わり「未来ある子どもたち」に焦点をあて継続して支援をしていくことで、子どもたちが安心して治療に専念できるような活動を展開してきた。令和3年度も下記3団体へ合計500万円の支援をさせていただいた。

継続支援実績（平成29年度に継続5年目の支援）

#### ①「NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会」（100万円）

全国の病院を訪問して闘病中の子どもたちを笑顔にする活動をしている団体で、全国に約110名のクラウン(道化師)が活動しており、小児病棟に入院している子供たちがいる、日本全国93の病院を定期訪問している。病院への定期訪問の他、被災地での活動への支援させていただいた。

#### ②「公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」（200万円）

病気と闘う子どもが、家から離れた病院に入院している場合、家族の負担は肉体的にも精神的にも経済的にも大きなものとなる。このような子どもの治療に付き添う家族の滞在施設が全国に11施設あるため、施設運営へ支援させていただいた。

#### ③「公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン」（200万円）

命に関わる難病の子どもたちの夢をかなえ、生きる力や病気と闘う勇気を与え活動をしている団体である。難病の子どもたちの夢を1つでも多く叶えることができるよう支援させていただいた。

### 2. 突発的災害への支援

全国各地で突発的に大災害が発生しており、全国の地方協会に1名ずつ登録いただいているハートフル・コーディネーターと地方協会長とが被災状況等を把握し相談のうえ、支援内容について本部ハートフルファンデーション委員会と連携する体制をとっているため、被災地が必要としている物資支援や要望に対して下記の通り支援し役立てていただくことができた。

万一の大災害時に、「JAIFAらしい支援」が会員の総力をもって起動できる体制は、会費に会員一人500円の基金が加えられたことで年間約2,000万円規模の原資が積み立てられ、会員全員の総力をもって起動できる体制が整えられた。改めて感謝申し上げるとともに、引き続き公益法人としての社会貢献活動として負託に応えていくこととしている。

#### ○「令和3年8月の豪雨」への支援

令和3年8月に活発な前線の影響により、九州北部を中心に全国各地の広範囲で記録的な大雨と

なり、河川の氾濫、土砂崩れなどが相次いで多発した。ハートフルファンデーション委員会は、災害直後に全国のハートフル・コーディネーター及び地方協会長と連携体制をとり、被災地の社会福祉協議会や避難所等で必要としている物資を確認し、下記の通り約84万円分の支援をさせていただくことができた。

島根県協会を經由した支援・・・雲南市並びに出雲市の災害ボランティアへ飲料水

佐賀県協会を經由した支援・・・佐賀市・武雄市・嬉野市災害対策本部及び被災地の学校へ飲料水、子ども用紙おむつ、ゴム手袋、マスク、除菌シート、土のう袋、災害ゴミ袋、ノート、鉛筆等文房具一式

福岡協会を經由した支援・・・久留米市社会福祉協議会へLEDライト、ポンプ消毒液等

長野県協会を經由した支援・・・長野県社会福祉協議会へ土のう袋、高圧洗浄機、移植コテ、てみ、ステン衛生ジョレン、清掃器等

○「福島沖地震」への支援

令和4年3月16日に福島県沖で発生した地震で、宮城県と福島県で震度6強の揺れを観測した。すぐに福島県協会が福島県社会福祉協議会と連携のうえ、壊れた屋根に使用するブルーシートや土のう袋等約56万円支援させていただいた。

更に、広島大会の特別映像プログラムとしても紹介した、映画「いのちの停車場」についても協賛した。在宅医療をテーマとして、いのちのしまい方に苦勞しながら人として成長していく姿が描かれており、生命保険業界に携わる会員に大きく関係している内容であるため、映画のチケットを2,500枚（特別価格1枚1,100円）を購入し、地方協会を經由して全国の社会福祉協議会等と連携のうえ有意義に活用していただいた。

最後に、年次大会にて恒例となっている「LEDバッジを活用した募金活動」は、広島大会は無観客開催のため募金活動が行う事ができなかったが、「未来ある子どもたちに役立たせるため」に開催地である広島県に100万円を支援した。

## ハートフルファンデーション 募金経過報告書

2022年3月31日

前年度末繰越金

78,347,775

収入

支出

①年会費からの収入

19,816,500

①突発的災害支援

1,393,243

令和3年度会費39,557名 @500]

19,778,500

令和3年8月豪雨への支援

839,107

令和3年度以前の会費76名 @500]

38,000

福島県沖地震への支援

554,136

②寄付金等

1,532,424

②未来ある子どもたちへの継続支援

5,000,000

一般社団法人生命保険協会 R3年度]

1,500,000

NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会

1,000,000

一般

32,424

公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス

2,000,000

③バッジ販売

10,000

公益財団法人 メイク・ア・ウイッシュ オブ ジャパン

2,000,000

ファンデーションバッジ @10,000]

③広島県 未来ある子どもたちへの)への支援

1,000,000

④いのちの停車場チケット協賛2,500枚 @1,100]

2,750,000

⑤振込手数料・残高証明書発行代

2,846

合計 21,358,924

合計 10,146,089

年度末残高

89,560,610

## ■公益事業としての国際協力の推進（管理部門）

J A I F Aが連携する海外協会であるN A I F A（全米生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会）との交流をはかり、生命保険に関係する研究を重ねると共に、やがて、J A I F Aが諸外国をリードし『国際的な民による公益の増進』を果たすことができる公益組織の見本となるようこれからも展開していく。

## ■会員増強と組織の強化（管理部門）

組織強化の施策として会員間の情報交換の仕組みを強化することや、本部と会社代表とのコミュニケーションを密にしながら、会社ごとの現状を判断し会員増加への対応を相互連携することは、J A I F Aの公益事業を津々浦々へ伝達するためには不可欠な取り組みである。

正会員の募集は、会費徴収のシステム化、口座振替による会費納入化など会員の利便化を図る目的で推進している。

令和3年度もコロナ禍で活動に制限がある状況であったが、会員増員を達成することができた。

事業年度	会員数	増加数	増加率
平成16年	27,998名		
17年	29,019名	1,021名	3.6%
18年	29,248名	229名	0.8%
19年	30,538名	1,290名	4.2%
20年	30,576名	38名	0.1%
21年	31,598名	1,022名	3.3%
22年	31,770名	172名	0.5%
23年	31,812名	42名	0.1%
24年	32,412名	600名	1.9%
25年	33,775名	1,363名	4.2%
26年	34,044名	269名	0.8%
27年	34,890名	846名	2.4%
28年	36,449名	1,559名	4.3%
29年	38,476名	2,027名	5.3%
30年	38,876名	400名	1.2%
令和元年	39,334名	458名	1.2%
2年	38,897名	▲437名	▲1.2%
3年	39,557名	600名	1.7%

J A I F Aは、生命保険営業職員を正会員としている。生保業界の環境変化の中、代理店に所属する営業職員に対してもJ A I F Aの事業活動を広報しつつ入会促進している。生命保険会社に所属する会社に比して代理店は来店窓口型も多く、一般消費者と接する機会には、J A I F A会員であることの誇りと、公益社団法人として活動していることの使命を伝えて頂くことで、消費者の方々が安心して生命保険への理解を深めいただけるように取り組む。

## ■広報誌「Present（プレゼント）」の充実と広報活動の拡大（管理部門）

広報誌「プレゼント」の内容を一般の消費者向けの記事を多く掲載するなどの刷新を行ってきた。今後も更に健康情報や生活に役立つ知恵などの記事を掲載していく。また、一般の方に目にしていただくよう公共機関などへの配布も推進する。

広報活動については、JAIFAの公益活動を内外にPRするため「ホームページ」や「Facebook」「QRコード」などを活用し、このほかDVDやパンフレットなどのツールを活用していく。

#### ● 2021年4月号

- ・新企画 特集 第1回 仕事や生活に役立てるミニ知識 オンラインで失敗しないために！リモートワーク時のビジネスマナー
- ・新連載 第1回 ごちそうの歴史 焼き鳥
- ・第72回 ゼロから学ぶ税金講座 優遇される退職金（前編）
- ・第220回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「母の思いと学資準備のための保険」
- ・第49回 社会保険Q&A 「70歳リタイア」時代と社会保険（中編）
- ・第109回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人になるヒント】～選ばれる人になるために必要なこと～
- ・第112回 心のかげはし どれだけ人のお役に立てるか？これをやり続け、これを追求し続けると道は拓ける
- ・第121回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 年金手帳が廃止へ…今後はどう管理される？
- ・第37回 想いをつなぐ 函館市社会福祉協議会にタオルを寄贈しました
- ・お役立ち情報 他人事ではない！認知症介護の実態

#### ● 2021年5月号

- ・特集 第2回 仕事や生活に役立てるミニ知識「キャッシュレス決済」メリットや上手な利用法は？
- ・連載 第2回 ごちそうの歴史 ラーメン
- ・第73回 ゼロから学ぶ税金講座 優遇される退職金（後編）
- ・第221回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「自分らしく生きるために」
- ・第50回 社会保険Q&A 「70歳リタイア」時代と社会保険（後編）
- ・第110回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を成長させるためのヒント】～心が喜ぶ工夫をしましょう～
- ・第197回 お客様からの感謝の声 大きな愛情とたくさんの思い出を遺して逝った46歳の夫。涙が枯れることはありません
- ・第122回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ マイナンバーカードが保険証の代わりになる！
- ・第38回 想いをつなぐ 生命保険の日の募金を行いました！
- ・第37回 JAIFA VOICE 「紡ぐ」～想いをかたちに～をテーマに！
- ・タオル、メガネ、カード類、マスク収集へご協力のお願い
- ・2021年JAIFA年次大会in広島 ウェブ参加者募集のご案内

#### ● 2021年6月号

- ・特集 第3回 仕事や生活に役立てるミニ知識 徹底したユーザー目線で、根本的な課題を見つける「デザイン思考」
- ・連載 第3回 ごちそうの歴史 とんかつ
- ・第74回 ゼロから学ぶ税金講座 住宅購入資金の贈与
- ・第222回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「安心イキイキ生命保険」
- ・第51回 社会保険Q&A 退職後の傷病手当金

- ・第111回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を成長させるためのヒント】～自分ルールでしなやかに過ごす～
- ・第113回 心のかげはし 仕事の在り方を変えた2つの出来事 保険商品を販売するだけの営業からライフカウンセラーへの意識的な転身
- ・第123回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 住宅ローンを組むなら2021年中が狙い目？
- ・第39回 想いをつなぐ 群馬県社会福祉協議会に寄付を行いました
- ・第38回 J A I F A VOICE 2021年度は社会貢献活動を復活していきたい

#### ●2021年7月号

- ・レポート 初のウェブ開催 2021JAIFA年次大会in広島 Willpower～意志あるところに道は開ける～
- ・第51回 定時総会報告
- ・第223回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「給付金の使い道」
- ・第52回 社会保険Q&A 所得によって免除される国民年金保険料（前編）
- ・第112回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を成長させるためのヒント】～大切なのはトキメキです～
- ・第198回 お客様からの感謝の声 47歳で乳がんを発病。生命保険と温かい周りの人たちのおかげで万全な治療ができました
- ・第75回 ゼロから学ぶ税金講座 厳しくなった教育資金贈与の特例
- ・第124回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 少額で気軽に！スマホ証券で株式投資
- ・第39回 J A I F A VOICE 小さな協会だからこそできる大胆な活動を展開しています！

#### ●2021年8月号

- ・特集 第4回 仕事や生活に役立つミニ知識 コロナに気をつけながら心身共にリフレッシュ！一人だけの贅沢な時間を楽しむ「ソロキャンプ」
- ・連載 第4回 ごちそうの歴史 かつては貴重な食材「氷」を使った夏の定番スイーツ！かき氷
- ・第76回 ゼロから学ぶ税金講座 孫が死亡保険金を受け取った場合
- ・第224回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「生きる活力としての保険」
- ・第53回 社会保険Q&A 所得によって免除される国民年金保険料（後編）
- ・第113回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を成長させるためのヒント】～ココロを軽くする方法～
- ・第114回 心のかげはし 人見知りでも毎日誰かの役に立つことを意識して実直に活動すれば人は必ず見ていてくださる
- ・第125回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 最近話題のFIREって、いったいなに？
- ・第40回 想いをつなぐ コロナ禍のなかで「今だから出来ること」
- ・第40回 J A I F A VOICE 全員参加型で社会貢献に取り組みたい
- ・JAIFA 社会貢献活動報告

#### ●2021年9月号



- ・特集 第5回 仕事や生活に役立つミニ知識 昨今注目を浴びている自転車通勤。始める前にチェックしておきたいポイント 自転車で、心身ともに爽やかに通勤！
- ・連載 第5回 ごちそうの歴史 現在のかたちに定着するまで独自の発展をとげてきました 天ぷら
- ・第77回 ゼロから学ぶ税金講座 相続税が確実にゼロですむ究極の相続
- ・第225回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「夢を支える生命保険」
- ・第54回 社会保険Q&A 在職による年金カット、縮小へ
- ・第114回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を成長させるためのヒント】～クリアーな一日の作り出し方～
- ・第199回 お客様からの感謝の声 終生癒えることのない長男との別れの哀しみ。たくさんの思い出と温かい人達を遺してくれた
- ・第126回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ つみたてNISAの利用者が300万人突破
- ・第41回 想いをつなぐ 「ヘルプマーク」の普及であらゆる方が住みやすい社会形成に役立てたい
- ・第41回 JAIFA VOICE 山形県社会福祉協議会へタオル1本運動の活動を行いました

### ● 2021年10月号

- ・特集 第6回 仕事や生活に役立つミニ知識 コロナ禍で注目を集めている免疫について知っておきましょう 免疫力を高めてストレスや病気に負けない体作りを！
- ・第75回 生命保険の月に寄せて
- ・第78回 ゼロから学ぶ税金講座 相続税対策の王道に暗雲!?
- ・第226回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「見えないお金」
- ・第55回 社会保険Q&A 遺族年金はいくら受給できる？
- ・第115回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を成長させるためのヒント】～本当に大切なことを意識する～
- ・第115回 心のかけはし 毎週の目標を達成するためにどのように活動するか みんなの笑顔のために契約は毎日の活動の積み重ね
- ・第127回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 年金の繰上げ受給4つのデメリット
- ・第42回 想いをつなぐ 「こども食堂」支援のための募金活動
- ・第42回 JAIFA VOICE コロナ禍でも、知恵と工夫、そして思いやりでJAIFAの活動を未来につなげましょう！

### ● 2021年11月号

- ・特集 第7回 仕事や生活に役立つミニ知識 好きなときに好きなだけ、一定期間に一定金額で利用できる製品やサービス！最近よく聞く“サブスク”って何？
- ・連載 第6回 ごちそうの歴史 あまり知られていない！？お好み焼きの発祥地や大阪風・広島風の違い お好み焼き
- ・第79回 ゼロから学ぶ税金講座 すでにある、相続税と贈与税の「一体化」
- ・第227回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「生命保険の大切さ」
- ・第56回 社会保険Q&A 自営業者に遺族年金はない!?
- ・第116回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を成長させるためのヒント】～できていることに目を向ける～
- ・第200回 お客様からの感謝の声 「妊娠悪阻」の入院で生命保険の大切さを実感。新たに健康還付金が給付されるがん保険に加入

- ・第128回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 2022年に大きな制度改正 iDeCo 3つの変更点
- ・第43回 想いをつなぐ 愛のドリーム募金で子どもたちの感性を育てるお手伝いを
- ・第43回 J A I F A V O I C E タオル333枚とマスク700枚を社会福祉協議会に寄贈しました

#### ●2021年12月号

- ・メッセージ コロナ禍の厳しい中ですが、一緒に頑張りましょう!! 全国でリーダーとして活躍する54 地方協会長からのメッセージ
- ・特集 第8回 仕事や生活に役立てるミニ知識 次世代の交通サービスで地域が抱える問題の解決の糸口に!?お出かけはMa a Sアプリ ひとつですべて完結!
- ・連載 第7回 ごちそうの歴史 日本では稲作が始まる前から蕎麦の栽培が行われていた!? 蕎麦
- ・第80回 ゼロから学ぶ税金講座 「生前贈与加算」のからくりと相続税対策
- ・第228回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～「大切な人を支えられるようになるために」
- ・第57回 社会保険Q&A 支給停止は老齢厚生年金だけ
- ・第117回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を成長させるためのヒント】～切り替え上手になる習慣の作り方～
- ・第129回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 年金を運用するGPIFはどのくらい収益を上げている?
- ・第44回 想いをつなぐ 新しいことに挑戦し、社会に貢献できるよう一丸となって活動をしていきたい
- ・第44回 J A I F A V O I C E リモートスキルを向上させ、社会貢献活動を行っています
- ・会員の皆さまへ 令和4年度会費納入について

#### ●2022年1月号

- ・新春対談 Opportunity ～次を見据えよう～ 菊池 桃子さん〈女優・戸板女子短期大学客員教授〉金井 敬司〈JAIFA 第13代理事長〉
- ・連載 第8回 ごちそうの歴史 おせち料理
- ・第229回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「スーパーおばあちゃん」
- ・中学生作文コンクールが今年で第59回を迎えました!
- ・生命保険各社社長より 新年のご挨拶
- ・第81回 ゼロから学ぶ税金講座 生前贈与加算を確実に回避する方法
- ・第58回 社会保険Q&A 年金を何歳から受け取るか (前編)
- ・第118回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を成長させるためのヒント】～プラスのひとつで空気をかえる～
- ・第201回 お客様からの感謝の声 8年間闘病していた次男が、夫の後を追うように天国へと旅立ち、とても悲しくて残念です
- ・第130回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 普通預金金利が200倍に!?銀行の金利アップサービス3選
- ・第14回 全国会長会議が開催されました
- ・第45回 J A I F A V O I C E リモートを活用したハイブリッド型の運営を確立します

#### ●2022年2月号

- ・特集 第9回 仕事や生活に役立てるミニ知識 国際社会が掲げた共通目標「SDGs」とは

- ・連載 第9回 ごちそうの歴史 すき焼き
- ・第82回 ゼロから学ぶ税金講座 贈与税額ゼロでも申告が必要!?
- ・第230回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～『安心』を買うということ
- ・第59回 社会保険Q&A 年金を何歳から受け取るか (中編)
- ・第118回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を成長させるためのヒント】～心を整える魔法のフレーズ～
- ・第116回 心のかげはし お客様のライフプランにしっかりと関わりたい 振り返りを大切にしお客様としっかり向き合う
- ・第131回 思わず伝えたくなる! お金にまつわるエトセトラ 株主へのプレゼント 株主優待を手に入れるには?
- ・第45回 想いをつなぐ 豪雨被災地の子供たちへ文具を届けました
- ・お役立ち情報 備えあれば憂いなし! 万一に備えて日頃から準備しておきたいこと

## ● 2022年3月号

- ・特集 第10回 仕事や生活に役立つミニ知識 どこにあるのかわからないけど便利な「クラウドサービス」とは
- ・連載 第9回 ごちそうの歴史 カレーライス
- ・第83回 ゼロから学ぶ税金講座 生前贈与規制は見送り ― 令和4年度税制改正
- ・第231回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「家族愛と健康」
- ・第60回 社会保険Q&A 年金を何歳から受け取るか (後編)
- ・第120回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を成長させるためのヒント】～やはり大切なのはここです～
- ・第202回 お客様からの感謝の声 42歳で急逝した父。母の愛情と生命保険のおかげで兄と私は大学まで進学できました
- ・第132回 思わず伝えたくなる! お金にまつわるエトセトラ 郵便貯金が引き出せない!? 預けっぱなしに要注意
- ・タオル・メガネ・カート類収集へご協力をお願い

## 1. 教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1）

### セミナー開催事業

セミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、下記の5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいている。

全国9ブロック54協会が、さまざまな分野から講師をお招きして73回のセミナーを開催した。セミナーの殆どをオープンセミナーとして、会員はもちろん会員以外の主婦や学生など一般の方々にも多数ご参加いただいた。開催したセミナーの一部を下記に記載する。

#### 1. 健康増進や先端医療のテーマ

##### ◆開催事例

- ①菅原 彩子（株式会社SAIKO 代表取締役）  
『看護師なのに、メンタルを壊した話』
- ②三屋 裕子（公益財団法人日本バスケットボール協会 会長）  
『三屋裕子の健康寺子屋』
- ③鹿沼 達哉（群馬県立がんセンター 院長）  
『正しく知ろう「がん」のこと』
- ④潮 晴光（有限会社若草薬局、若草薬局戸室店 薬剤師、厚木薬剤師会 理事）  
『今だから知っておきたい！現役薬剤師が語る「新型コロナウイルスワクチン接種前後の注意点』

#### 2. 生きがいを考えるテーマ

##### ◆開催事例

- ①香取 貴信（有限会社香取感動マネジメント 代表）  
『私の体験したディズニーマジック・感動を呼ぶサービス～社会人として大切な事はみんなディズニーランドで教わった～ストーリー～』
- ②辻井 いつ子（ピアニスト辻井伸行氏のお母様）  
『明るく、楽しく、あきらめない生き方』
- ③原 千晶（女優、よつばの会 代表）  
『大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを経験して～』
- ④中畑 清（プロ野球解説者）  
『「いつも絶好調」一流でも二流でもない“超二流”の極意』

#### 3. 教育・人格形成テーマ

##### ◆開催事例

- ①山本 昌（元中日ドラゴンズ選手）  
『継続する心』
- ②さかなクン（国立大学法人東京海洋大学名誉博士、客員准教授）  
『海と環境のお話（SDGS）』
- ③井上 康生（東海大学体育学部武道学科教授）  
『私の柔道哲学』

- ④三村 律子（株式会社シーズウェイ 代表取締役）  
『コミュニケーションスキルアップ・・・自己診断とタイプ別接客法・・・』
- ⑤矢部 輝夫（合同会社 おもてなし創造カンパニー 代表）  
『世界が驚く新幹線7分清掃の裏側にみるおもてなしの心』

#### 4. ライフプランの設計支援テーマ

##### ◆開催事例

- ①幸田 啓子（障害者労働事務所「プレーナ新宿」勤務）  
『「ピンチはチャンス！どんな時も道は開ける」～ダウン症の娘、難病の夫と歩む人生とお金の話～』
- ②山中 伸枝（株式会社アセット・アドバンテージ 代表取締役）  
『iDeco, NISAを上手に活用、老後資金の賢い作り方年金定期便から見る生命保険の使い方』
- ③川寄 一夫（とき司法書士法人代表、司法書士）  
『いちばんわかりやすい家族信託のはなし』
- ④金子 稚子（終活ジャーナリスト、ライフ・ターミナル・ネットワーク 代表）  
『限られた命に輝きを・・・』

#### 5. 経済や金融などの知識向上テーマ

##### ◆開催事例

- ①村田 晃嗣（同志社大学教授（国際政治学者））  
『“国際政治を通して「生きる力」を養う！”映画から見る、アメリカ政治と経済の関係性』
- ②牛窪 恵（立教大学大学院ビジネスデザイン研究科客員教授）  
『コロナが変えた！消費イノベーションとビジネスチャンス』
- ③藤井 聡（京都大学大学院教授、表現者クライテリオン編集長）  
『こうすれば絶対によくなる！日本経済～MMTに基づくコロナ禍からの脱却』
- ④河合 雅司（一般社団法人 人口減少対策総合研究所 理事長）  
『コロナ後の未来年表～生保業界に起きること～』
- ⑤川西 諭（上智大学経済学部教授）  
『行動経済学で考える幸せな働き方』

#### ブロックセミナー

##### <北海道ブロック>

- 令和3年10月21日（木） Web配信  
岸田 律子 『46年の軌跡』
- 令和3年12月13日（月） Web配信  
中村 信仁 『あなたの準備力は？未来を築く仕事術VOL. 1』
- 令和4年 1月19日（水） Web配信  
中村 信仁 『あなたの準備力は？未来を築く仕事術VOL. 2』

##### <関東甲信越ブロック>

- 令和3年11月22日（月） 茨城県立県民文化センター ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール  
尾木 直樹 『凹まない生き方』
- 小山田 香代 『「字」を変えると人生はうまくいく！』

<北海道ブロック・中国ブロック共同開催>

令和3年 4月13日(火) Web開催

小林 さやか 『ビリギャル流 不可能を可能に変える5つのルール』

<中国ブロック・四国ブロック共同開催>

令和3年11月 5日(金) Web開催

茂木 健一郎 『幸せ脳のつくりかた～人生を輝かすための秘訣～』

## 2. ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2）

### 社会貢献事業

#### ■愛のドリーム募金■

各地方協会とも贈呈計画への取組みが行われ、高齢者を対象とした福祉巡回車「愛のドリーム号」の贈呈に加えて、地方協会の規模や贈呈先の要望により贈呈対象を児童養護施設等への慰問や支援にも広げ、地域性や計画性を考慮した活動を展開している。

また、広報誌「Present」では、裏表紙に、生命保険の日（1月31日）に併せて全国一斉に「愛のドリーム募金」贈呈式を挙行了した活動を掲載した。令和4年3月31日現在までの総累計金額は、5億8,054万7,852円である。

#### ■ボランティア団体主催の諸行事に参加

下記団体が取り組む諸行事活動に、お手伝いをさせていただいている気持ちをもって、人的支援として会員が積極的に参加するように取り組んでいる。

#### ☆ガンに立ち向かう人々のために（公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ）

命のリレー・ウォークでは、がんに立ち向かう日々の思いや体験を語り合い、24時間歩きながら寄付を募るイベントです。患者さん（サバイバー）たちと共に歩くことで、がんに向う勇気や生きる感動を共有します。

#### ☆知的発達障害のある人々のために（公益社団法人スペシャルオリンピックス日本）

知的障害のある人たちに年間を通じて、さまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供している。スポーツを通じ社会参加を応援するために全国各地で開催される競技会等での支援をしています。

#### ■大災害に対する緊急支援体制■

これまで、国内外の各地で発生した台風や地震などの突発的自然災害により被害を受けられた方々に対して、援助を必要とする事態が発生した場合には今後も迅速な支援を行えるよう、ハートフルファンデーションの運営体制をもって対応していく。

## 3. 調査・提言事業（その他の事業）

### 諸団体との連携・交流等事業

・令和3年 4月16日(金) アンダーライティング学院臨時運営委員会に石井理事長が出席した。

- ・令和3年 7月13日(火) 全国生命保険労働組合連合会「営業職フォーラム」に事務局が出席した。
- ・令和3年 7月26日(月) アンダーライティング学院運営委員会に金井理事長が出席した。
- ・令和3年10月21日(木) アンダーライティング学院会計監査に右見理事が出席した。
- ・令和4年 1月 4日(火) 一般社団法人生命保険協会新年賀詞交歓会に金井理事長と事務局が出席した。

## 国際連携事業

### ■NAIFA年次大会

恒例となる米国NAIFA年次大会は、2020年、2021年の2年連続で、新型コロナ感染拡大を受けて中止となった。

NAIFAとJAIFAは、互いに抱えるさまざまな問題や課題に対し真摯に向かい合い、お客さまや一般市民に不利益な政策や法案に強く意見を述べる活動を続けている。

日米共に共通しているのは、営業職員がJAIFAやNAIFAといった組織に所属し、常にお客様のために学び、そして我々がお客様に長きにわたり接し続けることが大切な事であり、その活動には国境がありません。米国から学ぶことの価値は高く、公益法人としての役割を再認識しつつこれからも密接な連携を保っていける関係であることは意義深く、私達が米国の生命保険制度を学ぶ意味を活かしていくことが重要である。

## 政策・調査研究活動等事業

政党、関係団体との各種会合に出席し意見の開陳を行い、消費者が不当に不利益を被ることのないようその動向を明示し、消費者の利益を守るなど公益活動に資するよう引続き努力を続けてきた。今後も生命保険料控除などの税制改正や銀行窓販等に対して問題意識を持ちつつ活動を推進していく。

令和4年度税制改正に関する要望項目について

令和3年7月に要望書を作成。自由民主党組織運動本部団体総局財政・金融・証券関係団体委員会へ要望書を提出したほか、11月24日に開催された同会「予算・税制等に関する政策懇談会」にて一般政策の要望を行った。今般の要望事項は下記の通り（抜粋）

### 《重点要望項目》

◎人生100年時代を迎え、少子高齢化の急速な進展や働き方・ライフスタイルの多様化など社会環境が変化する中、持続可能な社会保障制度の確立と国民生活の安定に資するために、国民の自助・自立のための環境を整備する観点から、生命保険料控除制度については、社会保障制度の見直しに応じて、現行制度を拡充すること―所得税法上および地方税法上の生命・介護医療・個人年金の各保険料控除の最高限度額を少なくとも5万円および3.5万円とすること、また、所得税法上の保険料控除の合計適用限度額を少なくとも15万円とすること（所得税法第76条、地方税法第34条・同法第314条の2）

### 《その他の要望項目》

#### I. 企業年金保険関係

○公的年金制度を補完する企業年金制度（確定給付企業年金制度、厚生年金基金制度）および

確定拠出年金制度等の積立金に係る特別法人税を撤廃すること、撤廃に至らない場合であっても課税停止措置を延長すること

- 確定給付企業年金制度において、現行のとおり拠出限度額を設定しないこと
- 確定給付企業年金制度における中途引出し（脱退一時金）の在り方の検討にあたって、現行のとおり中途引出しを認めること
- 確定給付企業年金制度について、欧米における閉鎖型DBのバイアウト等のように、企業の年金支給義務を移転させる仕組みを導入するための措置を講ずること
- 確定給付企業年金制度における過去勤務債務等に対する事業主掛金等について、早期の年金財政の健全化に資する柔軟な取扱いを可能とすること
- 企業型確定拠出年金制度における退職時の中途引出し（脱退一時金）について支給要件を緩和すること

## II. 生命保険契約関係

- 遺族の生活資金確保のため、相互扶助の原理に基づいて支払われる死亡保険金の相続税非課税限度額について、現行限度額（「法定相続人数×500万円」）に「配偶者分500万円＋未成年の被扶養法定相続人数×500万円」を加算すること

また、各政策の状況・情報取得のため諸会議等にも参加した。

### ○一般社団法人生命保険協会・公益財団法人生命保険文化センター等との懇談会

令和4年1月18日（火）KKRホテル東京において、JAIFA主催による生命保険協会、生命保険文化センター、全国生命保険労働組合連合会、生命保険協会長担当4社の調査部・教育部と各種諸問題を話題としての懇談会を開催された。

## 4. 管理部門

### 組織の現状

令和3年度末の会員数は39,557名となった。前年令和2年度末会員数38,897名と比較すると600名の増加となった。また、54地方協会のうち増加地方協会は31協会であった。地方協会別会員数は、別表（54～55ページ添付）資料の通りである。

会員増加31協会

札幌・函館・旭川・釧路・秋田県・栃木県・群馬県・新潟県・山梨県・長野県・埼玉県・東京・神奈川県・富山県・石川県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・大阪・兵庫県・島根県・岡山県・広島・福山・山口県・香川県・福岡・北九州・鹿児島県

### 諸会議の開催

#### ① 理事会

第1回 令和3年 4月19日（月）午後1時半～午後3時 JAIFA本部会議室【Web会議】

議題 I. 決議事項 第1号議案 令和2年度事業報告承認の件 第2号議案 令和2年度決算承認の件 監査報告含 第3号議案 定時総会の開催承認の件 1. 開催日時について 2. 開催場所について 3. 委任状について 4. 議事録署名人について 5. 議事 決議事項：第1号議案 令和2年度決算承認の件 第2号議案 理事選任の件 第3号議案 監事選任の件 報告事項：1. 令和2年度事業報告の件 2. 令和3年度事業計画報告の件 3. 令和3年度予



算報告の件 第4号議案 支部（地方協会）運営規程細則改定の件 II. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・副理事長・専務理事 2. 組織の現況について 会費入金状況、行事開催報告、愛のドリーム募金 3. その他

第2回 令和3年 7月 2日（金）午後1時30分～午後3時10分 明治安田生命丸の内支社会議室【Web会議】

議題 I. 決議事項 1. 令和3年度事業推進について IT公益推進委員会教育部会 IT公益推進委員会広報部会 IT公益推進委員会IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 2. 理事会の開催予定について II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. 令和2年度定期報告書類提出の報告について 4. その他

第3回 令和3年 9月 3日（金）午後2時～午後3時10分 JAIFA本部会議室【Web会議】

議題 I. 決議事項 1. 令和3年度事業推進について IT公益推進委員会教育部会 IT公益推進委員会広報部会 IT公益推進委員会IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 2. 支部（地方協会）運営規定細則改定の件 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

第4回 令和3年10月29日（金）午後1時～午後1時55分 JAIFA本部会議室【Web会議】

議題 I. 決議事項 1. 令和3年度事業推進について 2. 令和4年度事業計画骨子について IT公益推進委員会教育部会 IT公益推進委員会広報部会 IT公益推進委員会IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 会社代表委員交代の件 II. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・副理事長・専務理事 2. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 3. 内部監査について 4. その他

第5回 令和4年 1月18日（火）午後1時～午後2時半 KKRホテル東京 11階 孔雀の間【Web会議併用】

議題 I. 決議事項 1. 令和3年度事業推進について 2. 令和4年度事業計画について IT公益推進委員会教育部会 IT公益推進委員会広報部会 IT公益推進委員会IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 令和4年度予算案について 4. 地方協会長承認の件 5. 規定改定の件 6. 支部（地方協会）運営規程細則改定の件 7. その他 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

## ② 委員会

### IT公益推進委員会 推進部会

第1回【HP/JAIFA学習帖等打合せ】令和3年 7月26日（月）午後1時～午後3時 JAIFA本部会議室【Web会議】

議事 1. HP/JAIFA学習帖について 2. その他

第2回【HP/JAIFA学習帖等打合せ】令和3年11月26日（月）午前10時～午後3時 JAIFA本部会議室

議 事 1. HP/JAIFA学習帖について 2. その他  
第3回【HP/JAIFA学習帖等打合せ】令和4年 1月14日(金) 午前11時半～正午 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. HP/JAIFA学習帖について 2. その他

### IT公益推進委員会 教育部会

第1回【教育部会・編集会議】令和3年 8月24日(火) 午後2時～午後3時10分 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. 令和3年度事業進捗について 2. 令和4年度事業計画案(骨子)について  
3. 令和3年度広報誌『Present』の制作について 4. その他  
1. IT推進について 2. その他

編集会議 午後3時10分～午後4時20分

議 事 1. 令和3年度『Present』の編集内容について 2. 令和4年度広報誌『Present』の編集方針について 3. その他

第2回【教育部会・編集会議】令和3年11月18日(木) 午後2時～午後3時 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. 令和3年度事業進捗について 2. 令和4年度事業計画(案)について 3. 令和3年度広報誌『Present』の制作について 4. その他

編集会議 午後2時半～午後4時

議 題 1. 令和3年度広報誌『Present』編集内容について 2. 令和4年度広報誌『Present』年間編集方針について 3. その他

### IT公益推進委員会 広報部会

第1回 令和3年 9月21日(火) 午後3時～午後4時 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. 令和3年度事業推進状況について 2. 令和4年度事業計画案(骨子)について 3. その他

第2回 令和3年10月20日(金) 午後2時～午後3時 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. 令和3年度事業推進状況について 2. 令和4年度事業計画(骨子)について 3. その他

第3回 令和4年 2月 1日(火) 午後1時半～午後2時 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. 令和3年度事業推進状況について 2. その他

### 企画運営委員会

第1回 令和3年11月12日(金) 午後4時15分～午後5時 大同生命 福岡支社 会議室

議 事 1. 2022年次大会in福岡の具体的進行作成 第3回実行委員会に向けて  
2. その他

### 【JAIFA創立60周年記念大会in福岡実行委員会】

第1回 令和3年 7月21日(水) 午後1時～午後4時半 ヒルトン福岡シーホーク アルゴス

議 事 1. 2021JAIFA年次大会報告(ダイジェストDVD視聴) 2. 2022JAIFA年次大会(創立60周年記念大会)について 3. その他

第2回 令和3年11月12日(金) 午後1時～午後4時 大同生命 福岡支社 会議室

議 事 1. 2022JAIFA年次大会(創立60周年記念大会について) 2. その他

第3回 令和4年 3月25日(金) 午後1時～午後5時10分 大同生命 福岡支社 会議室  
議 事 1. JAIFA創立60周年記念大会について 2. その他

### 社会貢献委員会

- 第1回 令和3年 8月26日(木) 午後2時～午後3時 JAIFA本部会議室【Web会議】  
議 事 1. 令和3年度事業進捗と今期方針の検討について 2. 令和4年度事業計画(骨子)について 3. その他
- 第2回 令和3年 9月29日(水) 午後2時～午後3時 JAIFA本部会議室【Web会議】  
議 事 1. 令和3年度事業進捗と今期方針の検討について 2. 社会貢献顕彰先行方法について 3. 令和4年度事業計画(骨子)について 4. その他
- 第3回 令和3年11月26日(金) 午後3時～午後5時 JAIFA本部会議室【Web会議】  
議 事 1. 令和3年度事業進捗について 2. 令和4年度事業計画(案)について 3. その他
- 第4回 令和4年2月18日(金) 午後3時～午後5時 JAIFA本部会議室【Web会議】  
議 事 1. 令和3年度事業進捗について 2. その他

### 会員増強委員会

- 第1回 令和3年 8月6日(金) 午後1時～午後3時 JAIFA本部会議室【Web会議】  
議 事 1. 令和3年度事業推進と進捗状況について ・会費納入状況について ・会員増強について ・会員数4万名へ向けて ・創立60周年記念に向けて、5万名体制を目指す 2. 令和4年度事業計画(骨子)について 3. その他

### 公益総務委員会

- 第1回 令和3年11月26日(金) 午前11時～午後1時 JAIFA本部会議室【Web会議】  
議 事 1. 令和3年度事業進捗について ・地方協会(役員)任期中の交代の件 ・会員の所属協会の件 ・地方協会にて70歳を超えた役員が就任している件 2. 令和4年度事業計画(案)について 3. その他

### ③全国会長会議

- 第1回 令和3年10月29日(金) 午後2時半～午後4時10分 全国会長会議 JAIFA本部会議室【Web会議】  
議 事 1. 本部重要事項報告 ①委員会の進捗と令和3年度事業計画骨子 IT公益推進委員会 教育部会、IT公益推進委員会 広報部会、IT公益推進委員会 IT推進部会、企画運営委員会、社会貢献委員会、会員増強委員会、公益総務委員会、ハートフルファンデーション委員会 ②JAIFAの組織の現況等について 事例報告 中国・四国ブロックセミナー開催報告 四国ブロック三浦ブロック長、関東甲信越ブロックセミナー・ブロック会議開催報告 関東甲信越ブロック大竹ブロック長、オンライン幹事会開催事例 大阪協会下山会長、幹事会開催事例 長崎県協会松尾会長、「愛のドリーム募金」について 帯広協会苧毛会長、「ハートフルファンデーション支援」について 長野県協会小川会長、本部事務局、内部監査室 ⑤ブロック長報告 ⑥その他

### ③ ブロック会議

#### <北海道ブロック>

令和3年10月5日(火)【Web会議】

令和3年11月16日(火) 札幌ガーデンパレスホテル

#### <東北ブロック>

令和3年11月25日(木)【Web会議】

令和4年1月20日(木)【Web会議】

#### <関東甲信越ブロック>

令和3年9月30日(木)【Web会議】

令和3年10月20日(水)【Web会議】

令和3年11月22日(月) ザ・ヒロサワシティ会館(Web会議併用)

令和4年3月8日(火)【Web会議】

#### <首都圏ブロック>

令和3年10月15日(金)【Web会議】

#### <近畿ブロック>

令和3年10月13日(水)【Web会議】

令和3年11月2日(火) ヒルトン大阪

#### <四国ブロック>

令和4年3月22日(金) コンレス(Web会議併用)

#### <九州ブロック>

令和4年3月25日(金) 大同生命 福岡支社会議室(Web会議併用)

### ■業務執行体制等

規程順守、個人情報をはじめコンプライアンス体制の強化、また反社会的勢力に対する対応方針など、理事会の場を活用し、役員並びに職員に対しても説明をしたうえで、体制の強化にあたっている。

令和2年度は、「規程順守」「雇用実態」の各項目での内部監査を実施した。

- 内部監査 1 地方協会の規程順守調査
- 2 地方協会の雇用実態調査
- 3 地方協会の内部監査

### ■職員の状況

本部事務局の業務にあたる令和3年度末の専従職員数は8名である。

### ■節電の実施

政府の電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議合同会合において毎夏・毎冬とも「電力需給対策について」の決定に基づいた節電対策の要請を受け、電力需給対策・徹底した節電に取り組んだ。

### ■福利厚生

公益社団法人移行後は、一般法人法の適用により、役員の賠償責任のリスクが発生することから、公益財団法人公益法人協会が斡旋する「役員賠償責任保険団体制度」に加入している。この保険は、法人役員が、社員代表訴訟、法人訴訟(いずれも社団法人のみ)、第三者訴訟(社団法人、財団法人共通)により損害賠償請求を提起された場合、法律上の損害賠償責任・訴訟費用を負担することによって被る損害をカバーするものとなっている。